ハンズオン研修会

脳卒中後歩行障害の評価と運動療法



講師 加藤 雄大 先生

医療法人　札幌麻生脳神経外科病院
リハビリテーション科　主任

マーカーレス動作解析・ロボティクス・電気刺激・装具を臨床に活かす

テクノロジー × 徒手技術で歩行再建を実践する!

参加申込は
こちらから

＼ 本研修で学べること ／

歩行障害の評価



- ✓ 脳卒中後歩行障害の見方
- ✓ 評価結果から介入につなげる考え方

マーカーレス動作解析



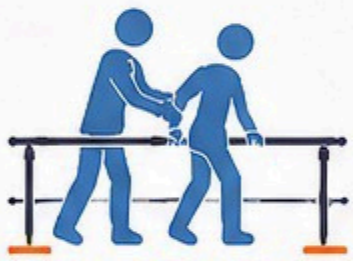
- ✓ AIを活用した歩行分析
- ✓ OpenCapを用いた臨床活用

テクノロジーの使い分け



- ✓ ロボティクス
- ✓ 電気刺激
- ✓ 装具の適応と使い分け

歩行練習の実践



- ✓ 電気刺激の設定方法
- ✓ 装具選定のポイント
- ✓ PTの介助技術

機器に任せるところと、PTが介入すべき部分を学ぶ!

開催概要

日　時	2026年12月5日(土) 10:00～16:00
開催形式	対面ハンズオン研修会
会　場	北海道科学大学 C 棟 202 教室
定　員	40名
参加費	5,000円

使用する機器

短下肢装具



Nexgear Tango／Triple Actionなど

電気刺激機器



L300Go／IVES Pro

上肢装具



SGO／アームエクステンサー

杖



paracane

主催：公益社団法人 北海道理学療法士会 札幌支部